

# 麻郷小学校 特別支援教育だより



R5.10.18



よりよいサポートのために！



何よりも大切なのは、お子さんの命と安全です。リスク管理の力を身に付けることはとても重要だと考えます。生活場面の中で機会を捉え、「〇〇したら、どうなるのか」を会話に取り入れましょう。

## ケース3 外出先で落ち着けない

突飛な行動をしたり、危険に気付かなかったりすると、けがや事故につながりやすくなります。公共の場で静かにマナーを守って過ごすことが難しいこともあります。

### ① 手をつなぐ。

その場で「ダメ!」と注意するより、あらかじめ「手をつなごうね!」と約束してから外出しましょう。



### ② スケジュールを伝える。

どこで何をするのか、どのようにふるまえばよいかを、出かける前に伝えると、見通しがたち、本人も安心できます。



### ③ 静かにする時間を伝える。

「〇分までは、静かに過ごそうね」など伝えることで、がまんしやすくなります。あとで楽しいことが待っているとさらにいいですね。

### ④ 普段からどこに危険があるのかを教える。

左右を確かめる、信号を見るなど交通安全の基本ルールは習慣化させましょう。



### ⑤ 注意は小声で分かりやすく。

大声で叱ると、声に驚いてストップがかかるかもしれませんが、適切な行動を理解したわけではありません。



### ⑥ よくない行動をやめたらほめる。

当たり前にも思っても、本人が行動を変えたらほめて価値づけましょう。親子のやりとりも穏やかに、楽しいお出かけになります。

\* 次回は、【ケース4 時間を気にしない】について考えます。